

株式会社東京セレモニーの完全子会社化について

燦ホールディングス株式会社
コード番号 9628 TEL:06-6226-0038

● 概要

燦ホールディングス株式会社（本社：東京都港区・大阪市北区、代表取締役社長：播島 聡、以下、当社）は、株式会社東京セレモニー（本社：東京都葛飾区、代表取締役社長：山本 大介、以下、東京セレモニー）の全株式を取得いたしました。

東京セレモニーは、本店所在地の東京都葛飾区及び横浜市鶴見区の自社所有会館「家族葬のいとしえ」を中心とし、これまで首都圏において家族葬に特化した高品質のサービス提供をしている葬儀社です。東京セレモニーが有する高品質のサービス提供体制と、当社の出店戦略・ノウハウをかけ合わせることで、首都圏におけるさらなる事業基盤の強化を図り、事業規模の拡大を加速させることができるものと考え、今回、両社により M&A の合意に至りました。



家族葬のいとしえ 外観パース

本M&Aにより当社は、中核子会社である株式会社公益社（本社：東京都港区・大阪市北区、代表取締役社長：播島 聡、以下、公益社）と東京セレモニーの協業を通じて、首都圏におけるサービス提供エリアの拡大をさらに推し進めてまいります。

● 背景

当社は、2032年に迎える創業100年に向けて、当社グループが進むべき方向、ありたい姿を「新10年ビジョン（2022年5月公表）」として定めました。当ビジョンにおいて事業の成長のために「葬儀事業の拡大」と「ライフエンディングサポート事業の拡大」を掲げ、その達成を目指し、「中期経営計画（2022年度～2024年度）」を推進しております。

この「葬祭事業の拡大」については、2023年12月末日時点で公益社、株式会社葬仙（本社：鳥取県米子市、代表取締役社長：宮永 誠治）、株式会社タルイ（本社：兵庫県明石市、代表取締役：池西 孝年）のグループ葬祭3社により合計85会館を運営しておりますが、2031年度にはグループ全体で210会館の運営を目指しております。

出店戦略の基軸は、①2023年に新たに立ち上げた家族葬ブランド「エンディングハウス（ENDING HAUS.）」を中心とした新規出店と ②M&Aによる出店拡大の2つです。

● 今後の展望

当社の首都圏における出店拡大状況は、公益社の新しい家族葬ブランド「エンディングハウス東四つ木」と「エンディングハウス新小岩」（東京都葛飾区）を2023年3月に同時オープン以降、既存の公益社ブランドの「公益社 溝の口会館」（川崎市高津区）を2024年2月にオープン予定として公表しております。

今後については、自社ブランドの新規出店に加えて、東京セレモニー運営の「家族葬のいとしえ」（横浜市鶴見区）と同様に、M&Aによって取得した葬儀会館を含めたドミナント出店のさらなる加速・拡大を計画しております。



当社は 2005 年に葬仙、2006 年にタレイをそれぞれ子会社化した後、公益社によって培われた事業ノウハウを用い、各社の収益力向上を実現してまいりました。今後においても、当該ノウハウを活用した、当社グループ経営基盤の拡大に資する M&A 案件に積極的に取り組んでまいります。

以上

この件に関するお問合せ先
燦ホールディングス株式会社
経営企画部 横田

Tel : 06-6226-0038 Fax : 06-6881-3340

燦ホールディングス株式会社
株式会社公益社
エンディングハウス
株式会社東京セレモニー
株式会社葬仙
株式会社タレイ

<https://www.san-hd.co.jp/>
<https://www.koekisha.co.jp/>
<https://www.koekisha.co.jp/endinghaus/>
<https://tokyo-ceremony.co.jp/>
<https://www.sousen.co.jp/>
<https://www.tarui365.co.jp/>